



## 勇往邁進！外部発表へ挑む 76期生・77期生（3月実施）

75期生に続き、76期生・77期生も外部発表するグループが多数出てきました。Prin I・IIの経験が必ずPrin III、Super Principiaに活きます。探究活動は自分で道を拓くもの。自分たちの手でどんどんチャンスを掴もう！

## 2023年電子情報通信学会総合大会

2023年3月7日（火）芝浦工業大学 大宮キャンパス  
Principia II YRP所属（2グループ参加）

①参加者：2-1 瀧川賜恩

テーマ：X線による建築物透過無線通信の研究

②参加者：2-6 長江俊介、2-7 佐々木楓、2-7 後藤優真

テーマ：磁界共振方式ワイヤレス電力伝送の50Hz商用電源利用の研究

【大会について】若い世代の研究のうち、すでにまとまっているものではなく、着手段階・途中段階の研究を対象。ジュニア・学生と企業や大学の研究者が交流する場を提供し、研究コミュニティへの初参加をサポートする。

## 電子通信情報学会MVE

2023年3月15日（水）～17日（金）沖縄県青年会館  
Principia I NTT人間情報研究所所属

参加者：1-4 亀山康成、1-6 小川諒太郎、1-7 近藤大輝

テーマ：野球の緩急をつけたピッチングに対する打撃フォームの分析 —VRとモーションキャプチャによるシステムを用いて—

【学会について】電子情報通信学会は電子情報通信技術の専門分野を幅広くカバーする学会で、メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎研究会(MVE)はその中の一部門。今回、若手研究者の発表の場のために設定された萌芽セッション（ショートペーパー）に参加する。

## 第19回日本物理学会 Jr. セッション

2023年3月18日（土）オンライン開催

Principia II YRP所属

2-7 菅野泰誠、2-7 富永凜愛、2-4 三上昊大、2-5 蓮池輝

テーマ：地震予知で日本を救おう！！

—地磁気観測による地震予知の可能性の研究—

【大会について】Jr.セッションは、高校生等が日頃の研究成果を発表する場であり、研究の発展と心の成長に寄与することを目指すものである。本学会の会員との議論により物理学者の考え方・研究の進め方に触れることができ、また、他校の生徒・引率の先生方との交流により、研究の視野を広げることができる。

## かながわ探究フォーラム

2023年3月26日（日）神奈川県立総合教育センター

Principia II 横須賀市自然・人文博物館所属

参加者：2-2 本松航

テーマ：ユビナガコウモリの生態調査と食餌昆虫調査

【目的】スーパーサイエンスハイスクールや理数教育推進校等における探究活動の成果発表を通じて、先進的な事例を広く共有し、参加生徒の探究の過程に関する理解を深め、研究意欲や知的好奇心を喚起するとともに、参加校の生徒に求められる課題解決力、創造力、プレゼンテーション能力等のより一層の向上を図る。

※本企画は他のグループも参加する予定あり。

## 令和4年度SSH成果発表会

2023年3月14日（火）県立厚木高校新体育館

Principia II 校内研究②所属

参加者：2-6 盛内結心

テーマ：くずし字回り道解説手法の使用と有用性について



【目的】探究活動の成果の発表と質疑応答をとおして、表現力の育成と探究活動の成果に対する理解を深める。

【形式など】厚木高校のSSH成果発表会（1、2年生参加、全2年生発表）は午前のポスター発表の部と午後の口頭発表の部で構成される。横須賀高校の生徒は午前のポスター発表の部に、「他校参加枠」で発表を行う。

## サイエンスフロンティアFIRST

2023年3月18日（土）YSF内 和田昭允記念ホール他

Principia I アーティスト村所属

参加者：1-3 桑原奏羽 他（調整中）

テーマ：染色の抗菌作用が細菌の増殖に与える影響

【目的】本校および国内（海外）招待校の研究発表を通して理数分野における課題研究の成果を共有し地域におけるサイエンス教育の中核となる科学フォーラムの場を形成する。／生徒の研究成果やSSH重点枠での国際共同課題研究の成果について英語での発表を積極的に導入し研究活動における英語コミュニケーション力の向上を図る。／研究発表や意見交換を通して海外の研究者や他校とのネットワークを広げ研究レベルの向上を図る。

## 令和4年度探究活動発表会

2023年3月24日（金）県立横須賀高校セミナーホール

Principia I の優秀グループより選出予定

【目的】各学校における探究的な学習の成果を共有することで、各県立高等学校等の教育力の向上を図り、より一層、質の高い教育の提供に資する。生徒が探究的な学びを通して考えたことを、根拠に基づき説明し、質疑応答を通して学びを深めることで、知的探究心を高め、問題発見・解決能力の育成を図る。

【形式・方法】すべての県立高等学校及び県立中等教育学校の代表生徒が参加（横須賀三浦地区は10校）。ポスター発表（10分程度）+質疑応答（10～15分程度）で開催。

## 表彰

1月21日（土）～22日（日）@横須賀市文化会館

・みんなの理科フェスティバル

いいね大賞【NTT陸上研究チーム】（Principia I）

1月28日（土）@総合教育センター

・かながわ部活アクティブ賞【科学部】

・令和4年度神奈川県立学校の児童・生徒表彰

【三浦半島の貝殻研究チーム】（Principia III）

【ハマダンゴムシ研究チーム】（Principia III）

2月2日（木）@朝日新聞社より郵送で授与

・第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC）

入選【三浦半島の貝殻研究チーム】（Principia III）